



仕事も料理も

きつりとさりげなく

微笑みながら

やりたいたいものだ



料理をするということは、限られた時間と空間の中で限られた材料をどう組み合わせどう処理するか、という、知的なパズルにはかぎらない。

だから、ものごとをうまく料（はか）り理（おさ）めることのできる人は、料理もうまくいし仕事もできる。要はアタマの使いよう、なのだ。

仕事がかっこいいからといって、日常の生活を愉しむ余裕まで喪つてしまつたら、たうココロがムカう。そんな女性のどこに魅力があるのだろうか。

世の中には文明の利器というものがある。たとえば、時向もかからず、台所も汚さず、手際よくおいしい料理をつくれるような道具が。それを使うに便いになるかどうかは女性の器量しだいである。